

第2回オンライン高校生模擬裁判選手権実施要項

主催：オンライン高校生模擬裁判選手権実行委員会

札埜和男研究室（岡山理科大学教育学部中等教育学科国語教育コース国語科教育研究室）

後援：龍谷大学犯罪学研究センター、矯正・保護総合センター刑事司法未来 PJ、龍谷大学法情報研究会、一般社団法人刑事司法未来、京都教育大学附属高等学校模擬裁判同窓会、刑事弁護オアシス

1 本大会のねらい

- (1) 法的思考力や刑事（裁判員）裁判の意義の理解にとどまらず広く人間や社会までを視野に入れ、文学模擬裁判を通じて、人間や社会を考える眼差しを深める。
- (2) 「国語的」模擬裁判の手法を通じて新学習指導要領の理念でもある主体的・対話的で深い学びを実現する機会とする。

2 実施日及び実施方法

- (1) 実施日 2021年12月19日（日）
- (2) 実施方法 札埜研究室等のZoomおよび各自宅、各校のZoom

3 出場校（14校・順不同）

- ・宮城県宮城野高等学校（宮城県）
- ・江戸川学園取手高等学校（茨城県）
- ・中央大学杉並高等学校（東京都）
- ・京都府立菟道高等学校（京都府）
- ・京都女子高等学校（京都府）
- ・神戸女学院高等学部（兵庫県）
- ・神戸海星女子学院高等学校（兵庫県）
- ・大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎（大阪府）
- ・創志学園高等学校（岡山県）
- ・岡山学芸館高等学校（岡山県）
- ・広島女学院高等学校（広島県）
- ・愛光高等学校（愛媛県）
- ・上智福岡高等学校（福岡県）
- ・佐賀県立佐賀西高等学校（佐賀県）

4 試合の方法

参加校は予め配布される教材や関連資料をもとに、検察側・弁護側それぞれの立場に立って立証・弁護活動を行う。シナリオ創作型の模擬裁判である。

参加校は、定められた時間内で**質問尋問、論告弁論**などの立証・弁護活動を行い、審査員がそれらの内容を評価して、その総合点で**順位**を決める。また、**第1試合・第2試合それぞれの法廷において、MVP**を選ぶ。

参加校は、検察側・弁護側両方の立場で模擬裁判を行うことになる（例えば、午前中の試合で検察側を担当したチームは、午後では弁護側を担当する）。総合点の高い順から優勝校・準優勝校を決める。

5 採点基準

読解力、人間や社会への洞察力、論理性、表現力等の視点から採点する。

6 参加必要人数

1 試合に必要な生徒数は、検察側・弁護側いずれの立場でも最低3名である（被告人役、証人役は生徒が行う）。検察側も弁護側も両方同じ生徒が出場するのであれば、参加に必要な最低人数は3人である。また、当日出場できる選手の人数は検察側・弁護側それぞれ7名以内計14名までとする。

7 費用

参加費は無料。

8 準備活動について

参加校確定後、教材及び具体的なルールや実施方法を配信し、争点についての立証・弁護方針を定め、証人尋問・被告人質問・論告弁論の準備をする。模擬裁判初心者でも、模擬裁判を行うにあたり必要な学ぶ機会を設ける。10月上旬より大会前まで週末を中心に必要な講義をZOOMで配信する。できる限り参加することを求めるが強制はしない。参加できなかった高校には録画動画を送付するなど補填できるようにする。また初めて模擬裁判に参加するにあたって準備するためのサポート体制を敷く。

参加校は12月12日（日）までに出場選手名（検察側・弁護側チームメンバー名および役割）を主催者まで連絡する。

9 参加条件

次の3つの条件を満たすこと。

- (1) 学校長の許可を得ること。
- (2) 趣旨に賛同できること。
- (3) ZOOM利用にあたり保護者の同意を得ていること。

10 当日のスケジュール（予定）

9:20	Zoom ルーム（開会式用）への入室開始
9:40	開会式、出場校紹介、選手宣誓
10:00	開会式終了、各校第1試合の法廷 Zoom ルームへ移動の準備
10:15	第1試合の各法廷 Zoom ルームへの入室開始
10:25	各法廷、選手紹介・諸注意
10:30	第1試合開始
12:30	第1試合終了、選手・傍聴人法廷 Zoom ルームから退室、昼休憩
13:15	第2試合の各法廷 Zoom ルームへの入室開始
13:25	各法廷、選手紹介・諸注意
13:30	第2試合開始
15:30	第2試合終了、選手・傍聴人から退室、休憩
15:50	Zoom ルーム（閉会式用）への入室開始
16:00	講評（審査員（裁判長・裁判官役）からのコメント）
16:30	成績発表・表彰式
16:45	大会委員長による閉会の挨拶
17:00	振り返り交流会

◎上記スケジュールの細部は状況により、今後変更される可能性がある

11 その他

免責事項について、準備授業や当日の試合のレコーディングを行うが、そのレコーディングは研究および教育活動以外には使用しない（肖像権について差支えある場合は事前に連絡のこと。可能な限りの対応を考える）。

教員に引率の義務は発生しない。

12 問い合わせ先

〒700-0005 岡山市北区理大町 1-1

札埜研究室（岡山理科大学教育学部中等教育学科国語教育コース）

fudano@ped.ous.ac.jp tel 086(256)9843